

①から⑥の資料を見て、次の問いに答えなさい。

問1. 最近の救急の現状を 100 字以内でまとめなさい。

問2. このような現状を解決していくには、どのようなことが考えられるか、箇条書きにして答えなさい。

<資料>

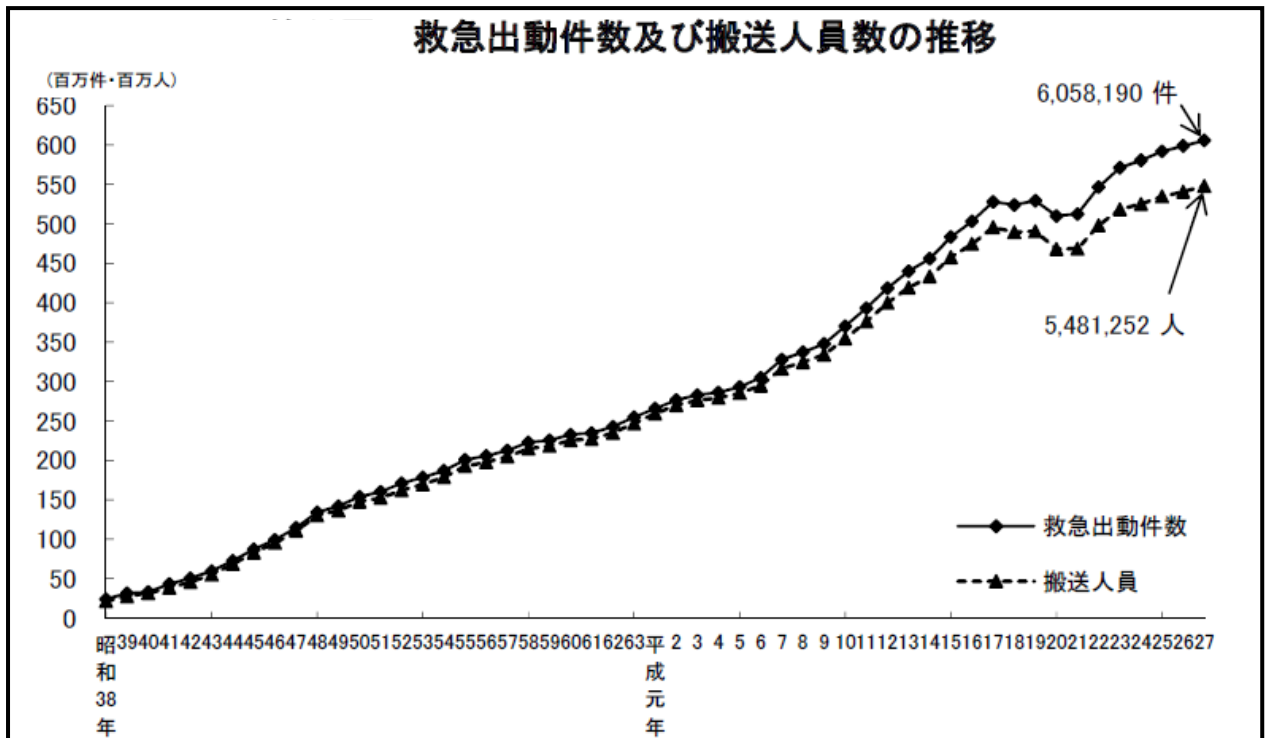
資料①

◎ 平成27年中の救急自動車による救急業務実施状況

- 救急出動件数 605万4,815件
- 搬送人員数 547万8,370人
 - うち高齢者（65歳以上） 310万4,368人（56.7%）
 - うち軽症（入院加療を必要としないもの） 270万5,974人（49.4%）

- 現場到着所要時間 全国平均 8.6分
- 病院収容所要時間 全国平均39.4分

資料②



資料③

急病の疾病分類別の年齢区分別搬送人員数 (平成27年)

年齢区分		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
分類項目							
循環器系	脳疾患	17 (0.9)	2,419 (1.6)	2,237 (2.7)	66,952 (5.8)	210,078 (10.0)	281,703 (8.1)
	心疾患等	19 (1.0)	363 (0.2)	903 (1.1)	65,328 (5.7)	235,468 (11.2)	302,081 (8.6)
消化器系		74 (4.1)	7,600 (4.9)	8,142 (9.9)	139,473 (12.2)	186,194 (8.8)	341,483 (9.8)
呼吸器系		148 (8.1)	16,799 (10.9)	7,684 (9.4)	61,787 (5.4)	240,546 (11.4)	326,964 (9.4)
精神系		7 (0.4)	282 (0.2)	4,795 (5.9)	95,124 (8.3)	24,541 (1.2)	124,749 (3.6)
感覚系		23 (1.3)	7,264 (4.7)	8,479 (10.4)	60,687 (5.3)	74,939 (3.6)	151,392 (4.3)
泌尿器系		2 (0.1)	180 (0.1)	1,011 (1.2)	57,847 (5.0)	55,764 (2.6)	114,804 (3.3)
新生物		1 (0.1)	36 (0.0)	87 (0.1)	13,288 (1.2)	44,702 (2.1)	58,114 (1.6)
その他		802 (43.8)	31,029 (20.1)	17,477 (21.4)	212,612 (18.5)	358,725 (17.0)	620,645 (17.8)
症状・徴候・診断名 不明確の状態		736 (40.2)	88,484 (57.3)	31,066 (37.9)	373,243 (32.6)	675,910 (32.1)	1,169,439 (33.5)
合計		1,829 (100.0)	154,456 (100.0)	81,881 (100.0)	1,146,341 (100.0)	2,106,867 (100.0)	3,491,374 (100.0)

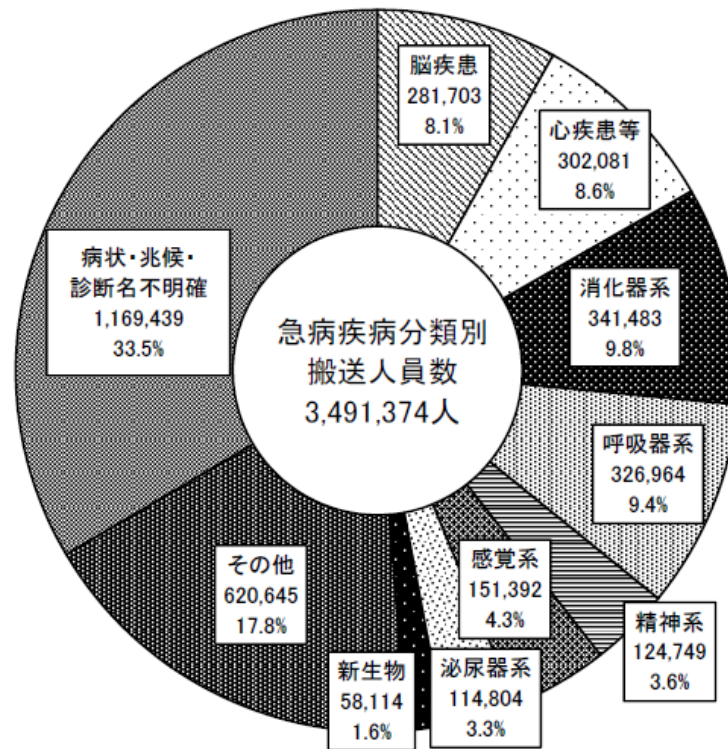
(注) 1 年齢区分は、次のとおり。

- (1) : 新生児 生後28日未満の者
- (2) : 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- (3) : 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- (4) : 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- (5) : 高齢者 満65歳以上の者

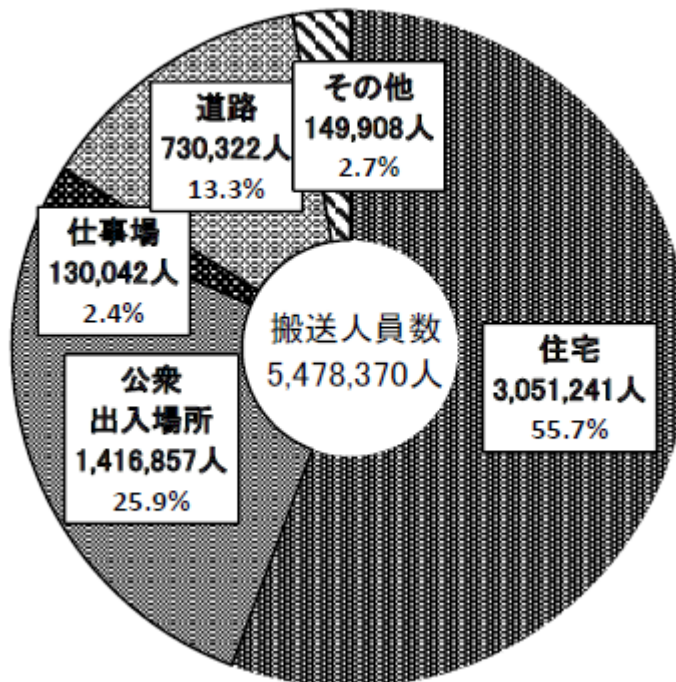
2 () 内は年齢区分別の構成比(単位: %)を示す。

急病の疾病分類別の搬送人員数

(平成 27 年)



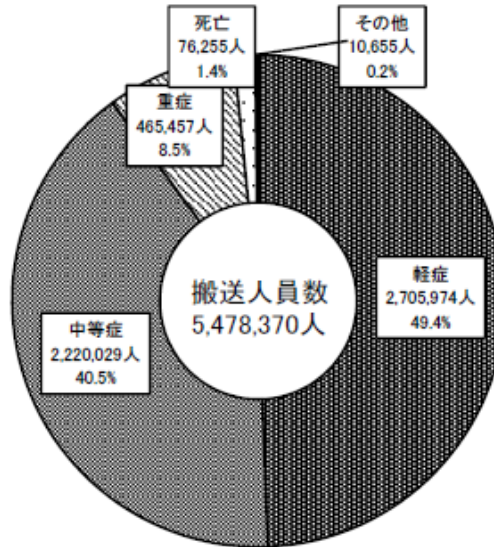
事故発生場所別の搬送人員数構成比 (平成 27 年)



傷病程度別の搬送人員数対前年比

傷病程度	平成27年中		平成26年中		対前年比	
	搬送人員数	構成比(%)	搬送人員数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
死亡	76,255	1.4	77,897	1.5	▲1,642	▲2.1
重症	465,457	8.5	472,485	8.7	▲7,028	▲1.5
中等症	2,220,029	40.5	2,174,746	40.2	45,283	2.1
軽症	2,705,974	49.4	2,669,888	49.4	36,086	1.4
その他	10,655	0.2	10,901	0.2	▲246	▲2.3
合計	5,478,370	100.0	5,405,917	100.0	72,453	1.3

傷病程度別の搬送人員数構成比



出典:「平成28年版 救急・救助の現状」、総務省消防庁、平成28年12月